

放課後等デイサービス評価 公表

NPO法人レスパイトケアはちもり 児童クラブあさひ

指定:平成27年7月 定員:10名

評価実施期間: H29.11.13~H29.12.15

実施方法: 職員による自己評価を実施したものを職員会議にて集約

集約者: 管理者 大八木 未来

I. 自己評価

		項目	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	多すぎず少なすぎず、子どもたちとの関係で考えながら利用日を設定している。
	2	職員の配置数は適切であるか	基本数2+加配1を超える配置数。しかし曜日や子供の特性によっては手薄とを感じる時もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	スロープや手すり等設置。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参加しているか	業務改善についての意識はあるが、なかなかそれを共有する時間がとれていない。月1回でもいいので、その時間を確保していく。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	今回初めてアンケートを実施しました。保護者の方の意見を真摯に受け止め、業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公表することになっています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	保護者等からのアンケートを行い、これに代えていければと思っています。

	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	定期的に内部研修を開催したり、県や国が実施する研修等にも積極的に偏りなく参加できるよう、配慮しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	アセスメントに加え、毎日の利用時に保護者と話しをして本当に必要なニーズは何か、考えながら作成する努力をしています。まだまだ未熟な部分が多いかと思いますが、邁進していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	児童クラブすがの同様、他事業所と同じアセスメントシートを使用しているため、児童クラブあさひ独自の、子どもの特性に合わせたアセスメントシートを作成したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	相談はしているが、個々の活動が子どもの特性上、どうしても多くなってしまっている。今後は子ども達の様子などに合わせて集団活動のプログラムも考えていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	どうしても曜日によって固定化されてしまっていることが多い。偏りないよう、様々なアイデアをだし、勉強しながら考えていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を含め細やかに設定して支援しているか	長期休暇など時間の長さに合わせて、子どもの変化を見ながら、支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	集団活動があまり行えていないことがある。チームで意見を出し合いながら、今後もっと集団での活動が増えるよう、個人の様子も見ながら考えていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	個々に情報の交換などは行っているが、集まっての打ち合わせなどの時間はとれていない。毎日は業務上厳しいかもしれないが、なるべく集まり確認できる時間を確保していく。また、書面や記録による指示書などを活用するなど、検討していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了後は、送迎に出ている職員も多く時間がバラバラなために、集まって振り返りを行うことは困難な状況。記録などを徹底し、必ず職員に確認してもらい、共有できるようにしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録用紙を活用しやすいよう、様式を変えるなど工夫し、毎日つけるよう徹底している。その日の児童の様子だけでなく、気づきや考えも含めながら記録するように努めていく。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	保護者と時間を作ってモニタリングをするのは難しいときもあるので、日々の保護者との情報交換などから気づいたときに計画の見直しを実行しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	様々な総則を組み合わせさせて支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	基本的には、児童発達管理責任者が参加しています。必要に応じて、他の支援員が同席することもあります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	担任教師にわからないことがあれば聞いたり、いつもと違う日程になる時があればその都度、事前の送迎時などに連絡を取っています。また、その日の児童の様子など、細かい情報共有も意識しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等との連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要なお子さんは現在までに受け入れはありませんが、今後そうなった場合に連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	必ずサービス担当者会議に参加させてもらい、情報共有と理解に努めています。
	24	放課後等デイサービスから福祉サービスに移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	移行支援会議などに参加し、今までの情報共有と移行後についてなど、共有しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	必要に応じて連絡を取り合い、相談などさせていただいています。また、研修会にも時間を合せて、なるべく参加できるようにしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との連携や、障害のない子どもと活動する機会があるか	ほとんどないように思う。今後は企画したり、連絡を取らせていただいて、長期休暇などの時間を使ってイベントとして交流会などが開けるようにしていきたい。
27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	法人として参加しています。	

	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時にその日の様子を伝え、話し合いするほか、ノート等を活用し共有していますが、子どもの特性によって偏りがあるように感じます。全てのご家庭に平等に共通理解できるようにしていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	保護者の考えや意向を尊重しつつも、困ったことに対して助言等しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	基本的に契約時に児童発達管理責任者が重要事項、契約書の確認・説明を保護者に対して行っています。また、わからないことがあれば、その都度聞いてもらうようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があれば、その都度一緒に考え寄り添えるような支援を行うよう心掛けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会のような組織は結成されていません。総会などを通じて、保護者の方が集まる機会があれば支援を行っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情対応マニュアルの作成を行っています。また、苦情処理までの流れを施設に掲示してあります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報等はありませんが、法人ホームページがありますので、更新は定期的に行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	職員に徹底し、管理も事務所等とするなど注意しています。
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	障がいに応じて、その特性に合った方法を用いるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所としては不是ですが、法人として施設の行事に来ていただくなどしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	作成して職員がいつでも確認出来るよう、事業所にファイリングして保管しています。また、保護者の方にも通知を出し、サイン等いただいています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に危難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回、防火管理者が企画し、消防署に届け出・立ち合いのもと、避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	県が企画する虐待防止・権利擁護の研修に参加し、法人内部で職員全員参加の伝達研修も企画しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束については、今の所行ったことはありませんが、十分に配慮し今後やむを得ずする場合は徹底するように職員にも指導しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	家庭や医療機関と連携し、確認しながら対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事例集は作成しファイリングしています。細かいことでもヒヤリハットを活用するようにしているが、まだまだ職員の中で認知が低いように思います。職員の意識ももっと向上させていければと思っています。

II. 保護者等へのアンケート						
評価実施期間： H29.11.13～H29.12.1 実施方法： 配布→手渡し、送付配布 回収→無記名事業所宛て 回収数/配布数： 7 / 16						
	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	
環境・体制整	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	71.4%	28.6%	0.0%	・一人用の(本人が落ち着く)部屋を用意して下さっていたり、有り難いです。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	57.1%	42.9%	0.0%	・子どもへの対応は専門的、勉強して下さっているのがわかる。

準備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100.0%	0.0%	0.0%	
	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	71.4%	28.6%	0.0%	
適切な支援の提供	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	57.1%	42.9%	0.0%	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	28.6%	42.8%	28.6%	
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	57.1%	28.6%	14.3%	
保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	71.4%	0.0%	28.6%	・支援会議や送って頂いた時に、細かく話してくださるのは助かっている。 ・協力して共通した情報を持ち、対応して下さっています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	42.9%	14.2%	42.9%	・助言等助かっています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28.6%	28.6%	42.9%	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	42.6%	57.1%	0.0%	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	57.1%	28.6%	14.3%	・本当によくしてくださっていると思います。

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28.6%	42.9%	28.6%	
	14	個人情報に十分注意しているか	57.1%	28.6%	0.0%	
非常時の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	42.9%	28.6%	28.6%	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	42.9%	28.6%	28.6%	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	71.4%	28.6%	0.0%	・楽しみにしています。
	18	事業所の支援に満足しているか	100.0%	0.0%	0.0%	・しています。本当に有り難いです。

Ⅲ. 総評

児童クラブすがの同様、今回初めて自己評価ならびに保護者等へのアンケートの実施となりました。自己評価では自分たちの事業運営や支援の振り返りができ、今後の課題も見えてきました。保護者等へのアンケートでは保護者のみなさまの率直な意見をいただくことができました。「事業所の支援に満足しているか」の問いに、ご回答頂いた全てのみなさまから「はい」との回答をいただきました。これは事業所にとってとても嬉しいことです。一方で、お子さんの様子や情報共有といった面で、それぞれのご家庭によって細かく共有できている家庭と、そうでない家庭とに差が出てきていることもわかりました。また、問13や問15など、事業所としては行っているものの、ご家庭にはやっているのかよくわからない、知らないという不透明さや周知不足も見て取れました。今後は事業所として、案内を出したり、偏りのない支援を心掛けていきます。

今回、アンケートにご協力頂いた保護者の皆さまに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。自己評価ならびに保護者等のアンケート結果をよりよい支援につなげていけるように活用していきたいと思っております。